

令和6年度

望月人権文化センター運営委員会

資料

隣保館の歴史

昭和28年度の国家予算に、初めて同和地区に隣保館を建設する経費の補助金が計上され、その後、同和対策事業特別措置法制定を契機として全国に隣保館の整備が図られた。平成9年特別措置法が失効したことにより、同和対策施設から社会福祉施設へと変わり現在に至る。

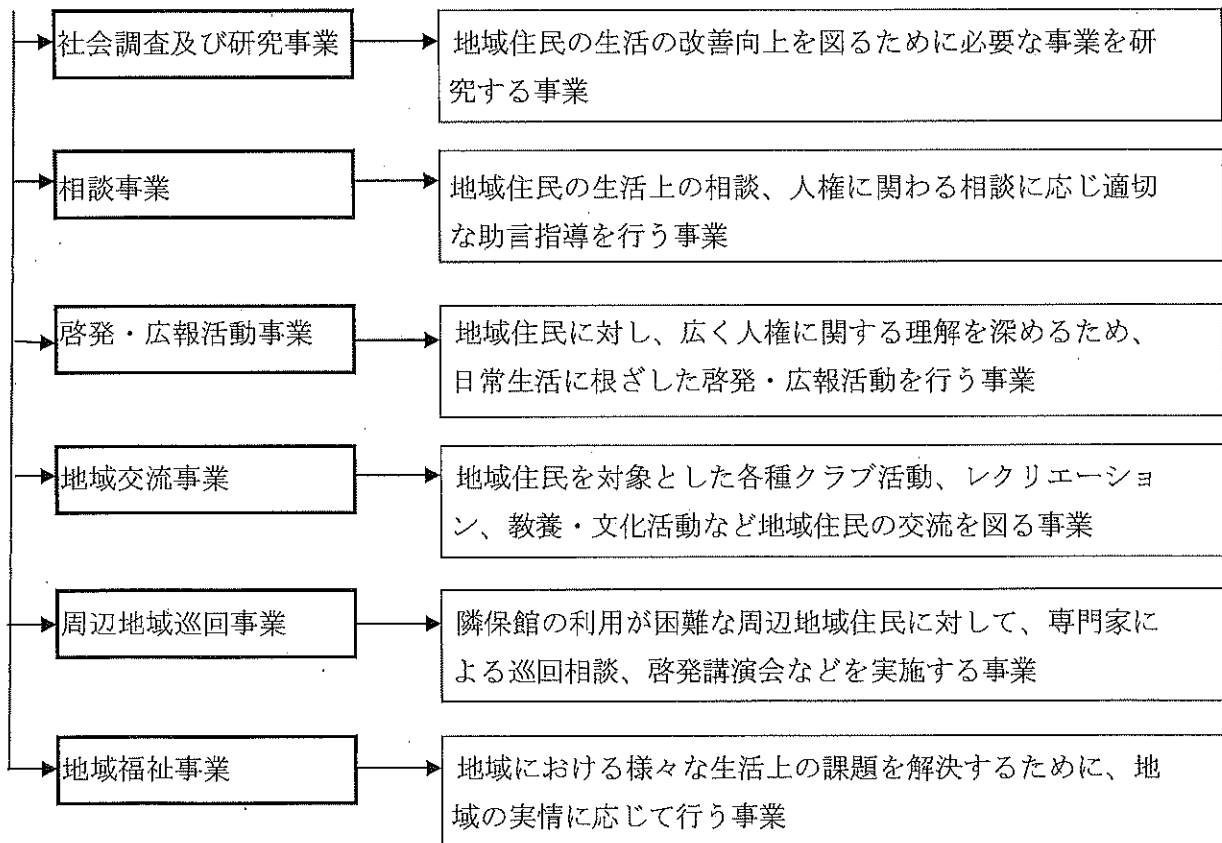
隣保館の目的

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

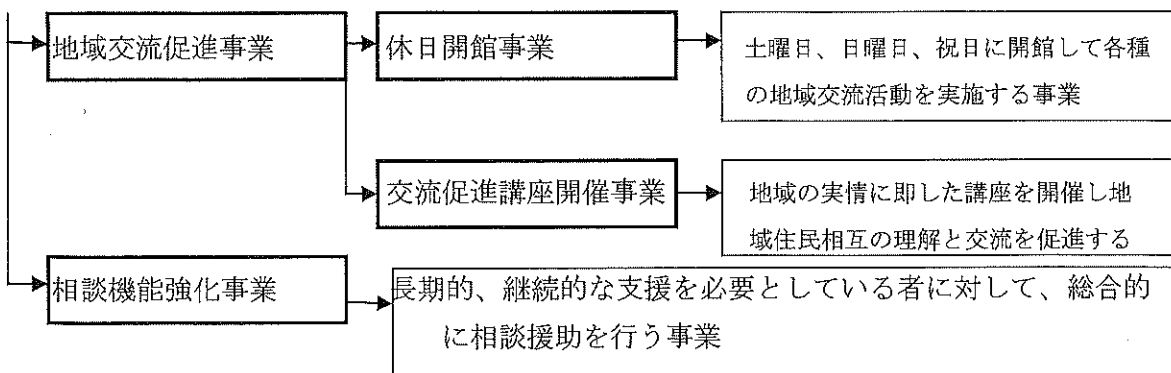
隣保館事業の体系

H14.8.29 厚生労働事務次官通知隣保館設置運営要綱より

基本事業



特別事業



令和5年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題
基本事業					
社会調査及び研究事業	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席 長野県隣保館連絡協議会総会（長野市） 第1回東信地区人権教育スキルアップ講座（佐久市） 人権啓発講演会（佐久市） 第111回長野県隣保館関係職員研修会	4/18 7/28 11/20 2/21	4	4	コロナウイルス感染症流行以降職員同士の情報交換の場が少なくなっている。
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時			
相談事業	① 個別訪問による相談活動 地区の世帯を訪問し、事業参加を呼びかけたり、各種相談を受けたり、言葉かけを行った。	随時		95	相談を受ける中で地域の課題や住民ニーズ等を把握し対処していく。また、相談ごとの回答やアドバイスを提供するにとどまらず、悩み事を抱えた相談者の心をケアする場とする。
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行った。				
	③ 健康教室などでの相談 健康教室など事業参加時に相談を受け、助言指導を行った。				
啓発・広報活動事業	① 地区内への通信（そよかぜ）を発行 当館の行事予定、講座・教室へのお誘いなどを掲載した。	4月 6月 9月	3	120	住民に来てもらう、見てもらう、読んでもらうために、期待され喜ばれる内容にしている。
	② 人権教育啓発関係図書・ビデオの貸し出し	随時			
	③ 人権パネルの展示 望月人権文化センター内にて、人権パネルを展示した。	通年			
	④ 「隣保館だより」の発行（広報佐久3月号別冊） 市内全戸と関係機関へ配布、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室、講座などを周知した。	3月	1		
	⑤ 人権啓発講演会	12/2	1	81	
地域交流事業	① 史跡めぐり	10/26	1	18	今までの実績を踏まえながら、多くの住民に参加してもらえよう魅力ある内容を検討していく。
	② 解放子ども会と高齢者の交流会	8/2	1	49	
	③ ものづくり体験教室	12/2	1	13	

令和5年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題		
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握しながら指導を行った。	通年			事業開催のチラシ等を配布時を利用し、高齢者等が気兼ねせず相談できる関係を構築していく。		
地域福祉事業	① 高齢者健康教室 保健師による血圧測定、健康相談、熱中症などの話のあと、講師の指導による体を動かしながら歌を歌った。 ・第1回 18人 ・第2回 14人	6/30 9/29	2	32	高齢者の生活と健康面を中心に総合的に支えていくため、各関係機関との情報交換や連携を通じて内容を充実させていく。		
特別事業							
地域交流促進事業	① 休日開館事業 生活・人権相談	第2・4土曜日 (1月は第3土曜日)	25	0	地域の実態に即した内容にし、多くの地域住民が気軽に参加できる事業とする。		
	② 休日開館事業 手話教室 主に休日開館に併せて実施した。手話を通して障がい者との交流、豊かなコミュニケーションを図ることを目的として実施しました。	第2・4土曜日 (8月は第3土曜日)	25	370			
	《 交流促進講座開催事業 》						
	① 初級パソコン教室 7月～11月に開催した。初心者を対象にワード、エクセルの基礎を学びながら交流を図った。	第2・4金曜日	12	63			
	② ヨーガ教室 6月～2月に開催した。高齢でも無理なくできる内容で行い、健康保持と交流を図った。	第1・3木曜日	18	336			
	③ 和文化教室 6月～3月に開催した。お茶の入れ方や飲み方などの基本動作や着付けを学習して交流を図った。	6月～12月第1火曜日 1月～3月第2・4木曜日	13	139			
④ コーラス教室 6月～11月に開催した。季節の歌を歌いながら健康増進を図り、参加者同士の交流を深めた。	6月～7月第2・4月曜日 8月～11月第1・2・4月曜日	16	276				

令和5年度 望月人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	回数	人・件数	事業の方向性・検討課題
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 継続的、長期的に相談援助を必要とするケースについて、自立支援の方策を検討した。 ・第1回	2/19	1	4	長期的な視点で、関係機関と連携し、あらゆる面から解決策を模索していく。
その他事業					
その他	① 望月・子ども人権フェスティバル	12/2	1	81	昨年度中止となった望月人権フェスティバル・子ども人権フェスティバルの開催のあり方に向けて検討していく。
	② 貸館事業 各種サークル活動、会議などで使用してもらうため部屋を貸し出した。	通年	85	1,199	
	③ ホームページの活用 佐久市のホームページを活用してイベント、講座案内、各種相談窓口の掲載をしている。	通年			
	④ 人権・男女共生フェスティバル ステージ発表として手話教室の手話ダンスで参加。	11/18	1	12	
	⑤ いのちの駅伝 小学校から中学校そして望月サテライト校へと命の大切さを訴え、いじめや差別のないまちづくりを呼びかけタスキを繋ぐ。	10/14	1	69	

令和5年度 隣保館活動状況・事業実施状況 内訳

事業名	開催回数	開催日	内訳	参加人員	合計人数
啓発・広報活動事業	1	12/2	人権啓発講演会(フェス)	63	63
地域交流事業	3	8/2	解放子ども会と高齢者の交流会	49	80
		10/26	史跡めぐり	18	
		12/2	ものづくり体験教室	13	
地域福祉事業	2	6/30	健康教室	18	32
		9/29	健康教室	14	
休日開館事業 (手話教室)	25		月2回(8月は3回) 第2、第4土曜日	370	370
			初級パソコン教室 12回	63	814
			ヨガ教室 18回	336	
			コーラス教室 16回	276	
			和文化教室 13回	139	
望月・子ども人権フェスティバル	1	12/2	来館者	81	81
人権センター通信等の発行	3		そよかぜ 1回		地区内配布
			健康教室 2回		
隣保館だよりの発行	1		広報佐久3月号 1回		全戸配布
貸館事業	85		貸 館		1,199

隣保館活動状況

【望月人権文化センター】

1. 相談事業実施状況

相談事項	令和5年度相談件数	令和4年度相談件数
生活相談（生活・人権等）	36	11
健康相談（健康診断）	55	100
教育相談（就学等）	1	0
事業相談（経営等）	2	9
職業相談（就職・失業保険等）	1	0
計	95	120

2. 事業実施状況

事業名	令和5年度		令和4年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	1	63	0	0
地域交流事業	3	80	0	0
地域福祉事業	2	32	2	34
休日開館事業	25	370	25	377
交流促進講座開催事業	59	814	59	579
計	90	1,359	86	990
人権センター通信等の発行	3	地区内配布	3	地区内配布
隣保館だよりの発行	1	市内全世帯配布 (37,500部)	1	市内全世帯配布 (37,500部)

3. その他

事業名	令和5年度		令和4年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
望月・子ども人権フェスティバル	1回	81人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	
貸館事業	85回	1,119人	77回	869人
いのちの駅伝	1回	69人	1回	102人

啓発・広報活動事業

★人権フェスティバル

12月2日に2年ぶりに望月・子ども人権フェスティバルを開催しました。コーラス教室、望月解放子ども会、望月中学校いじめ対策委員会、手話教室の発表がありました。発表会の後の佐久総合病院地域ケア科の色平哲郎医長による人権啓発講演会では、多くの方に参加していただきました。また、クリスマス工作をして、子どもも楽しみました。最後に参加者全員でビンゴゲームをして終了しました。



地域福祉事業

★高齢者健康教室

6月と9月の2回、健康教室を実施しました。健康相談の後、市保健師による講話がありました。その後、懐かしい歌を歌ったり、体を動かすゲームをして、楽しみました。最後に茶話会をして交流を図りました。



地域交流促進事業

★コーラス教室

6月から11月までの間の月曜日の午後にコーラス教室を実施しました。発声練習として季節の歌を歌いながら健康増進を図り、参加者同士の交

流を図りました。また、人権フェスティバルなどで練習の成果を発表しました。

★和文教室

6月から3月までの間の火曜日または木曜日の午後に、和文教室を実施し、お茶の作法や着付けについて学びました。また、屋外で和服を着てお茶会をして交流を図りました。



★初級パソコン教室

6月から11月の第2・第4金曜日の午後に初級パソコン教室を実施し、ワードとエクセルの基礎を学びました。11月にはイラストを入れた年賀状やカレンダーを作成し、12月2日の望月・子ども人権フェスティバルで展示しました。

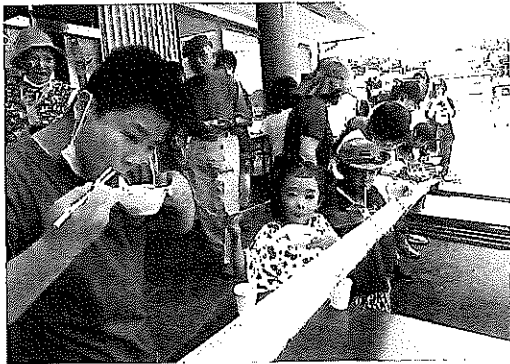
★ヨーガ教室

6月から2月までの第1・第3木曜日の午後にヨーガ教室を実施しました。ヨーガのゆったりとした動きと呼吸を学び日々の健康に活かしました。また、教室の前には参加者同士で話をして交流を深めました。

地域交流事業

★子ども会との交流会

8月に4年ぶりに地域の方々と望月解放子ども会での交流会を実施しました。多くの高齢者と子ども達が歌やゲームを通して交流しました。最後に行った流しそうめんが大変好評でした。



★史跡めぐり

10月に4年ぶりに史跡めぐりを実施しました。信濃町の野尻湖や一茶記念館などを訪れました。一茶記念館では一茶の人々に目を注いだ俳句に触れることができました。

休日開館事業

★手話教室

耳の不自由な方と手話で会話ができることを目指して、第2・第4土曜日の午前に手話教室を実施しました。11月18日の人権・男女共生フェスティバルでは、手話ダンス「補助犬トリオ」を発表しました。



★生活人権相談

平日に時間が取れない方のために、第2・第4土曜日に生活・人権相談を行っています。お気軽に当センターまでご相談ください。

令和6年度 望月人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数	人件数
基本事業				
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席 長野県隣保館関係職員研修会 他 ② 訪問等による地区世帯状況等の把握		3	
相談事業	① 個別訪問による相談活動 地区の世帯を訪問し、事業実施のお知らせをする中で、相談を受けたり言葉かけをしたりする。	随時		
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行う。	通年		
	③ 健康教室などでの相談 健康教室など事業参加時に相談を受け、助言指導を行う。	事業実施時		
啓発・広報活動事業	① 地区内への通信（そよかぜ）を発行 当館で行われる教室、イベントなどを掲載し、参加を呼びかける。		3	
	② 人権教育啓発関係図書・ビデオの貸し出し	通年		
	③ 人権パネルの展示	通年		
	④ 「隣保館だより」の発行（広報佐久3月号別冊） 市内全戸や関係機関へ配布し、隣保館の取り組みなどを紹介する。		1	
	⑤ 人権啓発講演会（望月・子ども人権フェスティバル） 講師：柴平浩文（望月人権文化センター職員） 内容：「異文化理解に関する事柄」	12/7	1	
	① 解放子ども会と高齢者の交流会	7/31	1	
	③ わくわく体験教室	12/7	1	
周辺地域巡回事業	高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護、教育等の相談に応じて、状況を把握しながら指導を行う。	随時		
地域福祉事業	① 高齢者健康教室 高齢者を対象に、心や体を健やかに保つため、健康相談、血圧測定や軽い体操、運動などを行う。また、屋外で散策を行う。	6月 9月	2	

令和6年度 望月人権文化センター事業計画 (案)

事業名	事業内容	実施日	回数	人件数
特別事業				
地域交流促進事業	① 休日相談 毎月、第2・第4土曜日を基本に開館する。 平日に来館できない方に利用してもらい、人権、生活相談にも応じる。		24	
	② 手話教室 休日開館に併せて実施する。より豊かなコミュニケーションを図ることを目的として手話教室を実施し、あわせて交流も図る。	第2・4土曜日 (8月は第5土曜日も)		
	《 交流促進講座開催事業 》			
	① ヨーガ教室 6月～1月に開催。高齢でも無理なくできる内容で行い、健康保持と交流を図る。	第1・3木曜日	16	
	② コーラス教室 6月～11月に開催。基本を学ぶ中で、健康維持、ストレス発散と参加者同士の交流を図る。	第1・2・4月曜日	18	
	③ 大人のピアノ教室 6月～3月に開催。バイエルン程度を弾ける方を対象にピアノの曲を演奏する。	6月～8月 第2・4金曜日 9月～3月 第2金曜日	13	
	④ 手芸教室 6月～3月に開催。古い浴衣をかばんなどにリメイクする。	第2・4木曜日	20	
	⑤ 和文化教室 (お茶) 茶道・所作を学び華やかな生活に生かす。	不定期	6	
⑥ 中学英語教室 (3年) 5月～2月に開催。望月中学校3年生を英語教室を開催する。	毎週火曜日	34		
相談機能強化事業	① 支援方策検討会 継続的に支援が必要なケースや解決が困難なケースなどに対応するため、必要に応じ開催し自立支援の方策などを検討する。	必要に応じて		

令和6年度 望月人権文化センター事業計画（案）

事業名	事業内容	実施日	回数	人件数
その他事業				
その他	① 望月・子ども人権フェスティバル NPO法人、人権団体などで構成する「もちづき人権フェスティバル実行委員会」と「望月解放子ども会」により開催する。	12/7	1	
	② 貸館事業 各種サークル活動、会議などで地域住民に利用してもらうため、施設の部屋を貸し出す。	通年		
	③ ホームページの活用 佐久市のホームページ内に、隣保館のイベント、講座の案内、各種相談窓口の掲載をし、人権啓発や情報の提供を実施する。	通年		
	④ 人権・男女共生フェスティバル	11/17	1	
	⑤いのちの駅伝	10/5	1	

5. 都道府県による研修等の市等への支援事業の創設、福祉事務所を設置していない町村による相談の実施

- ・都道府県において、市等の職員に対する研修、事業実施体制の支援、市域を越えたネットワークづくりなど市等を支援する事業を努力義務化し、国はその事業に要する費用を補助（補助率：1/2）
- ・現行法では実施主体となっていない福祉事務所を設置していない町村であっても、生活困窮者に対する一時的な相談等を実施することができることとし、国はその要する費用を補助（補助率：3/4）。

子どもの学習支援事業の強化・居住支援の強化（一時生活支援事業の拡充）

1. 子どもの学習支援事業の強化

- ・子どもの学習支援事業について、学習支援に加え、以下を担う「子どもの学習・生活支援事業」として強化。

- ① 生活困窮世帯における子ども等の生活習慣・育成環境の改善に関する助言
- ② 生活困窮世帯における子ども等の教育及び就労（進路選択等）に関する相談に対する情報提供、助言、関係機関との連絡調整

生活困窮世帯の子ども等を取り巻く主な課題

学習面	生活面	親の養育
<ul style="list-style-type: none"> ○高校進学のための学習希望 ○勉強、高校卒業、就労等の意義を感じられない 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭に居場所がない ○生活習慣や社会性が身についていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもとの関わりが少ない ○子育てに対する関心の薄さ

上記課題に対し、総合的に対応

子どもの学習・生活支援事業

学習支援 (高校中退防止の取り組みを含む)	生活習慣・育成環境の改善	教育及び就労(進路選択等)に関する支援
<ul style="list-style-type: none"> ○日々の学習習慣の習慣づけ、授業等のフォローアップ ○高校進学支援 ○高校中退防止（定期面談等による細やかなフォロー等）等 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭以外の居場所づくり ○生活習慣の形成・改善支援 ○小学生等の家庭に対する巡回支援の強化等親への養育支援を通じた家庭全体への支援 等 	<p>高校生世代等に対する以下の支援を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○進路を考えるきっかけづくりに資する情報提供 ○関係機関との連携による、多様な進路の選択に向けた助言 等

隣保館地域交流各講座へのお誘いカレンダー

市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

お問い合わせは、佐久市中央隣保館、各人権文化センターまでお願いします。
 なお、季節性感染症や災害等の状況により中止・変更になる場合があります。

全講座LINEによる
申し込み可

※定員になり次第締め切ります。(ヨーガ教室除く) ※電話が繋がりにくい場合があります。LINEにてお申込みいただきますとスムーズです。

	講座及び教室内容	日 時	講師・指導者	備 考
佐久市中央隣保館 62-0991	実用書道講座	5月~2月 第2・4木曜日 午後5時30分~8時30分	岩井 一郎 先生	材料費等実費 (随時受付)
	やさしい古文書講座	5月~2月 第2木曜日 午後1時30分~3時30分	岩井 信人 先生	材料費等実費 (随時受付)
	クラフト教室	7月~11月 第1・3木曜日 午後1時~4時	菊池 たか子 先生	材料費等実費 申込受付5/15(金) 9時~ 定員10名
	絵手紙教室	6月~12月 第1・3水曜日 午後1時~4時	岩本 幸枝 先生	材料費等実費 申込受付4/3(金) 9時~ 定員20名に達し次第終了
	生け花教室	5・7・9・11・1月 第4木曜日 午後1時30分~3時30分	佐藤 澄子 先生	材料費等実費 申込受付4/5(金) 9時~ 定員8名
	手話教室	5月~3月 第3土曜日 午前9時30分~11時30分	岡村 真奈美 先生 松川 たか子 先生	申込受付4/4(金) 9時~ 定員20名に達し次第受付終了
	初級パソコン教室 (ワード・エクセル・スマホ)	6月~12月 第1・3火曜日 午後1時~4時	館 長	ノートパソコン持参 申込受付5/8(金) 9時~ 定員に達し次第終了 テキスト代500円 定員12名
	和文化教室 (前結び着付け等)	6月~10月 第2・4火曜日 午後1時~4時	原 幸子 先生	テキスト代3,850円 他必要な装備品実費 申込受付5/1(金) 9時~ (定員に達し次第終了) 定員8名
浅科人権文化センター 58-2039	成人書道教室	毎週月曜日 午後7時~9時	寺尾 賢明 先生	中学生以上対象 テキスト代実費 (随時受付) 定員12名
	児童書道教室	毎週水曜日 午後3時~5時	寺尾 瑠美子 先生 町田 輝子 先生	テキスト代実費 (随時受付) 定員12名
	絵手紙教室	第1土曜日、第3月曜日 午後1時30分~3時30分	岩本 幸枝 先生	材料費実費 (随時受付) 各定員12名
	地域交流会 (音楽)	不定期 (年間5回) 午前9時00分~12時00分	柳澤 英美 先生	無料 (随時受付) 定員5名
	地域交流会 (料理)	不定期 (年間3回) 午前9時30分~12時30分	町田 輝子 兼士	参加費300円 (随時受付) 定員12名
望月人権文化センター 51-1135	ヨーガ教室	6月~1月 第1・3木曜日 午後1時30分~3時	井出 智衣子 先生	年間16回 受講料5,000円 申込受付5/8(金) 午前8時30分~午前12時(抽選) 定員25名
	コーラス教室	6月~11月 第1、2、4月曜日 午後1時30分~3時30分	小林 美智子 先生	申込受付5/8(金) 午後1時~ 定員25名 歌集実費
	大人のピアノ教室	6月~8月 第2・4金曜日 午前9時~12時 9月~3月 第2金曜日 午前9時~12時	職 員	キーボード持参 申込受付5/8(金) 午後1時~ 定員10名 テキスト代実費 ※バイエル程度弾ける方対象
	手芸教室	6月~3月 第2・4木曜日 午後1時~4時	小山 三保子 先生	申込受付5/8(金) 午後1時~ 定員15名 材料費実費
	和文化教室 (お茶)	不定期 (年6回) 月2回×3力月	江戸千家大井清雪	申込受付5/8(金) 午後1時~ 定員10名 和菓子・お茶代実費
	手話教室	第2・4土曜日 午前9時30分~11時30分	岡村 真奈美 先生 渡辺 光子 先生	随時受付

生活・人権相談事業

佐久市中央隣保館、各人権文化センターでは、「生活・人権相談窓口」を常時開設し、地域の皆さんの生活上の相談や人権に関わる相談などに応じています。相談時間は下記のとおりです。



佐久市中央隣保館	月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時15分	第3土曜日 午前9時~正午
浅科人権文化センター	月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時15分	第3土曜日 午後1時30分~4時30分
望月人権文化センター	月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時15分	第2・4土曜日 午前8時30分~午後5時15分
下廻回和教習集会所	火曜日・木曜日 午前10時~正午	

※秘密は厳守され、必要に応じて関係機関・施設などの紹介もおこなっておりますのでお気軽にご相談ください。

貸館案内

下記の施設では、会議室等の貸し出しをしています。ご利用ください。
 使用時は、事前申請が必要です。使用料は下記のとおりです。

(季節性感染症、気象、災害の状況によっては、貸出を中止する場合があります。)



佐久市中央隣保館 ☎62-0991	場 所	大会議室	会議室	生活改善室	料理講習室	■貸出期間 午前9時~ 午後10時 ■申請受付 午前8時30分~ 午後5時15分
	使用料 (1時間)	730円	200円	310円	410円	
	冷暖房設備 (1時間)	250円	50円	50円	50円	
望月人権文化センター (望月交流センター) ☎51-1135	場 所	相談室	生活改善室	会議室1	会議室2	
	使用料 (1時間)	200円	310円	310円	200円	
	場 所	多目的利用室1	多目的利用室2			
	使用料 (1時間)	310円	310円			

※表紙の絵手紙は絵手紙教室講師 岩本幸枝先生の作品です。